











Cisco Unified SIP Phone 3911 電話ガイド for Cisco Unified Communications Manager 6.0 および 5.1

ライセンスおよび保証規定を含む

電話機の一般的なタスク

コールを発信する	番号をダイヤルする前に、オフフックにします。
番号をリダイヤルする	 を押すか、 オフフック状態で [ナビゲーション] ボタンを押して発信履歴を表示します。
コール中にハンドセットに切り替える	ハンドセットを取ります。
コール中にスピーカーフォンに切り替える	 を押します。
電話機をミュートする	 を押します。
コールを保留にする、または復帰する	番号を強調表示にして、次のボタンを押します。 
新しい番号へコールを転送する	 を押して、 番号を入力します。コールが呼び出されたら、 再度、  を押します。
標準の(アドホック)3 者会議コールを開始する	 を押して、 参加者にダイヤルします。 再度、  を押します。



Cisco, Cisco Systems, the Cisco logo, and the Cisco Systems logo are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries. All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

Copyright © 2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-14030-01-J








クイック リファレンス
















Cisco Unified SIP Phone 3911 for Cisco Unified Communications Manager 6.0 and 5.1



ボタン アイコン
電話機の画面のアイコン
電話機の LED
通話履歴と短縮ダイヤル
名前と番号の項目
電話機の一般的なタスク

ボタン アイコン







	音量
	スピーカ
	ミュート
	ナビゲーション
	キャンセル
	OK
	回線
	リダイヤル
	会議
	転送
	保留 / 復帰
	メッセージ

電話機の画面のアイコン

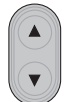




回線とコールのステータス	
	不在が有効
	コールが保留中
	接続コール
	着信コール
	会議コールがアクティブ
	会議コールが保留中
	会議コールが無効
	発信コール
	発信コールがつながりません
	コールを転送中
	回線 (アイドル)
	回線が無効
選択されたデバイス	
	ハンドセットを使用中
	スピーカフォンを使用中

その他の機能	
	ボイス メッセージあり
	不在履歴


電話機のLED

メッセージ待機中インジケータ	電話機の画面の上にあるインジケータのステータス
	<ul style="list-style-type: none"> オン(点灯): 新しいボイス メッセージ 点滅: 着信コール
	<ul style="list-style-type: none"> オン(点灯): アクティブなコール 低速点滅: 保留中コール 高速点滅: 着信コール
	オン: スピーカ使用中
	オン: 電話機をミュート中
	オン: 会議コールがアクティブ
	オン: 新しいボイス メッセージ

通話履歴と短縮ダイヤル

通話履歴を使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">  を押してから、 [不在履歴] [着信履歴]、あるいは [発信履歴] を選択して、ダイヤルする項目を選択します。  を押してから、 「ディレクトリ」> [不在履歴] [着信履歴]、あるいは [発信履歴] の順に選択して、編集する項目を選択します。  を押してダイヤルします。
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">  を押してから、 「短縮ダイヤル」 を選択して、ダイヤルする項目を選択します。  を押して、 「ディレクトリ」> [短縮ダイヤル] の順に選択して、ダイヤルする項目を選択します。

名前と番号の項目

文字を削除する	 を押します。
数字から文字へ切り替える	# を押します。
大文字から小文字へ切り替える	# を押します。

Contents

はじめに 1

- このガイドの使用方法 1
- 追加情報の入手 2
- 安全および使用に関する情報 2
- Cisco 製品のセキュリティの概要 3
- アクセシビリティ機能 3

電話機の接続 4

電話機の概要 7

- ボタンとハードウェアについて 7
- 機能のボタンとメニューについて 10
- 回線とコールについて 11
 - 回線およびコールのアイコンについて 11
- 機能のアクセシビリティについて 12

コール処理 13

- コールの発信：基本的なオプション 13
- コールの発信：追加オプション 14
- コールへの応答 15
- コールの終了 15
- コールの保留と復帰 16
- ミュートの使用 16
- 着信コールへの切り替え 16
- コールの表示 17

コールの転送	17
他の電話番号へのすべてのコールの転送	18
会議コールの使用方法	18
短縮ダイヤル	19
共有回線の使用	19
ハンドセットおよびスピーカフォンの使用方法	20
電話機の設定の変更方法	21
電話機のカスタマイズ	21
通話履歴の使用方法	22
通話履歴の使用方法	22
ボイス メッセージへのアクセス	23
電話機のトラブルシューティング	24
電話機の管理データの表示	24
Cisco 製品（ハードウェア）に関する 90 日間の限定保証規定	25
索引	

はじめに

このガイドの使用方法

Cisco Unified SIP Phone 3911 は Cisco Unified IP Phone ファミリの一機種です。このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。この電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをお読みください。次の表に、よく使用されるセクションを示します。

目的	操作
安全情報を参照する	安全および使用に関する情報 、 2 ページ を参照してください。
電話機を接続する	電話機の接続 、 4 ページ を参照してください。
設置後に電話機を使用する	まず 電話機の概要 、 7 ページ を参照してください。
電話機のボタンについて調べる	ボタンとハードウェアについて 、 7 ページ を参照してください。
コールを発信する	コールの発信 ：基本的なオプション、 13 ページ を参照してください。
コールを保留にする	コールの保留と復帰 、 16 ページ を参照してください。
コールを転送する	コールの転送 、 17 ページ を参照してください。
会議コールを発信する	会議コールの使用 方法、 18 ページ を参照してください。
短縮ダイヤルを使用する	短縮ダイヤル 、 19 ページ を参照してください。
電話番号を共有する	共有回線の使用 、 19 ページ を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	ハンドセットおよびスピーカフォンの使用 方法、 20 ページ を参照してください。
呼出音の音量を変更する	電話機の設定の変更 方法、 21 ページ を参照してください。
不在履歴を表示する	通話履歴の使用 方法、 22 ページ を参照してください。
ボイス メッセージを聞く	ボイス メッセージへのアクセス 、 23 ページ を参照してください。
ボタンとアイコンの定義を参照する	このガイドの冒頭にあるクイック リファレンス カードを参照してください。

追加情報の入手

WWW 上の次の URL で、Cisco Unified IP Phone の最新資料を入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

Cisco の Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、Cisco の Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

安全および使用に関する情報

停電の影響および Cisco Unified IP Phone のその他のデバイスについては、このセクションを参照してください。

電源の停止

電話機から緊急サービスにアクセスするには、電話機に電力が供給されている必要があります。電力供給が中断した場合、電力が復旧するまでサービスダイヤルおよび緊急コールサービスダイヤルは機能しません。電源の障害または中断が発生したときは、サービスダイヤルまたは緊急コールサービスダイヤルを使用する前に、装置をリセットまたは再設定することが必要な場合があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

Cisco では、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトコアまたは同様のデバイスを適用する。

Cisco では、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システム パフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステム パフォーマンスを得られます。

**注意**

EU 各国では、EMC 指令 [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、およびヘッドセットだけを使用してください。

Cisco 製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。Cisco の暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

Cisco の暗号化製品に適用される米国の法律の概要については、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/wwl/export/crypto/tool/stqrg.html>

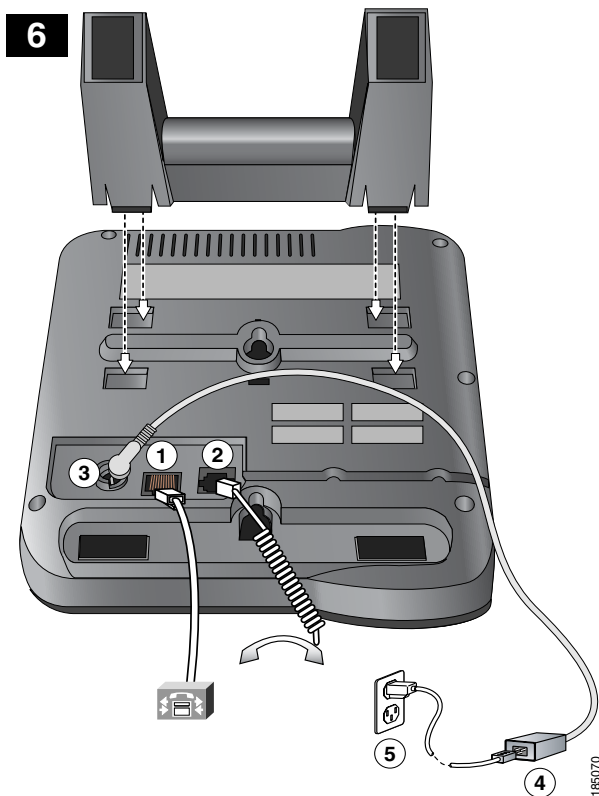
何かご不明な点があれば、export@cisco.com まで電子メールを送信してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストは、申し込みにより入手可能です。

電話機の接続

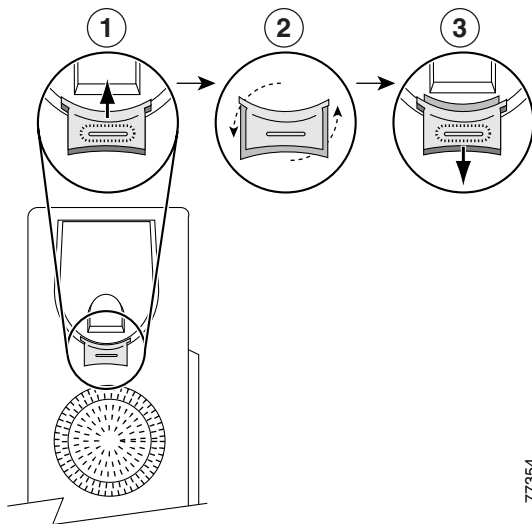
通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。そうではない場合は、次の図と表を参照して、電話機を接続してください。



1	ネットワークポート (10/100 SW)	4	AC-DC 電源アダプタ (オプション)
2	ハンドセットポート	5	AC 電源コード (オプション)
3	DC アダプタポート (DC48V)	6	フットスタンド

ハンドセット受け台の調節

電話機を接続する際、ハンドセットが滑り落ちないように、受け台を調整することができます。次の表に手順を示します。



77354

1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

TAPS (内線番号自動登録システム) への登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。市外局番を含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、ハンドセットが切断されていることを確認してから、ヘッドセットを電話機の背面にあるハンドセットポートに接続します。

ヘッドセット製造業者の推奨事項によって異なりますが、外付け増幅器が必要になる場合があります。詳細については、ヘッドセット製造業者の製品マニュアルを参照してください。

Cisco では、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に適した唯一「最良の」ソリューションというものはありません。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco Unified IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

Cisco では、Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) の不要なシグナルが遮蔽された高品質の外部デバイス (ヘッドセット) の使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細は、[外部デバイスの使用方法、2 ページ](#) をご覧ください。

特定のヘッドセットが Cisco Unified IP Phone に不適となる主な理由は、ハム雑音が入る可能性です。この雑音は、リモートの通話相手に聞こえる場合と、またはリモートの通話相手と自身 (つまり Cisco Unified IP Phone ユーザ) の両方に聞こえる場合があります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。場合によっては、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、ユーザに聞こえる雑音を低減または解消することができます。

音声品質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスよりも優先して、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音声は主観的なものであるため、Cisco ではヘッドセットやハンドセットの性能を保証できません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットおよびハンドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合の音声が高品質であることが報告されています。

これらを使用する場合でも、実際の環境で装置をテストして、性能が適しているどうかを判断するのは、最終的にお客様の責任となります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.vxicorp.com/cisco>

<http://www.plantronics.com>

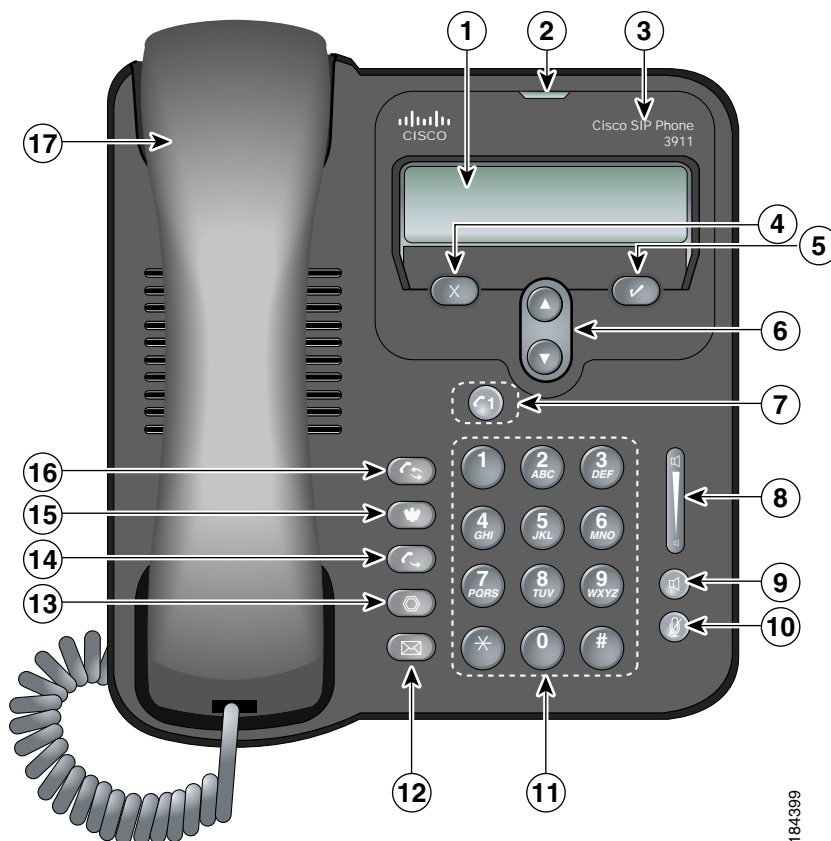
<http://www.jabra.com>

電話機の概要

Cisco Unified SIP Phone 3911 は Cisco Unified IP Phone ファミリの一機種です。この IP Phone により、コンピュータで使用するデータ ネットワークを介した音声通信が提供されます。これにより、コールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開催などが可能です。







ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを識別するには、次の図を参照してください。














184399

	項目	説明	参照先または 問い合わせ先
1	電話機の画面	電話メニューおよびコール アクティビティ（発信者 ID（電話番号）、通話時間、コールの状態など）が表示されます。	回線およびコールのアイコンについて、11 ページ
2	メッセージ待機中インジケータ	新しいボイス メッセージ（赤く点灯）や着信コール（点滅）を示します。	ボイス メッセージへのアクセス、23 ページ
3	Cisco Unified IP Phone シリーズ	Cisco Unified IP Phone のモデル シリーズを示します。	-
4	キャンセル ボタン 	操作をキャンセルするか、メニューを終了するか、コールを切断します。	コール処理、13 ページ
5	OK ボタン 	メニューを表示するか、メニュー オプションの選択や確認を行うか、コールに応答するか、コールに復帰します。	コール処理、13 ページ
6	ナビゲーション ボタン 	メニュー項目のスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックの場合、通話履歴（不在履歴、受信履歴、発信履歴）および設定された短縮ダイヤルを表示します。	通話履歴の使用法、22 ページ および 短縮ダイヤル、19 ページ
7	回線ボタン 	回線でコールを発信するか、コールに応答できます。 <ul style="list-style-type: none">高速の点滅は着信コールを示します。低速の点滅は保留コールを示します。	コール処理、13 ページ
8	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン、および呼出音の音量を制御します。	電話機の設定の変更方法、21 ページ
9	スピーカ ボタン 	スピーカフォンを選択します。スピーカフォンがオンの場合、このボタンが点灯します。	ハンドセットおよびスピーカフォンの使用法、20 ページ

10	ミュート ボタン 	スピーカフォンおよびハンドセットをミュートします。このボタンが点灯している場合、スピーカとハンドセットはミュートされています。	ミュートの使用、 16 ページ
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、および数字や文字の入力に使用します。	コール処理、13 ページ
12	メッセージ ボタン 	ボイス メール ボックスに接続します。このボタンが点灯している場合、待機中のメッセージがあります。	ボイス メッセージへのアクセス、23 ページ
13	保留ボタン 	現在のコールの保留、保留中のコールの復帰、アクティブ コールと保留中のコールの切り替えを行います。 保留中のコールがある場合は、回線ボタンが低速で点滅しています。	コールの保留と復帰、 16 ページ
14	転送ボタン 	別の番号へコールを転送します。	コール処理、13 ページ
15	会議ボタン 	標準の(アドホック)3 者会議コールを開始します。このボタンが点灯している場合、会議コールが開催中です。	コール処理、13 ページ
16	リダイヤル ボタン 	最後に発信した番号をリダイヤルします。	コール処理、13 ページ
17	ハンドセット	電話機のハンドセット。	コール処理、13 ページ

機能のボタンとメニューについて

機能ボタンを押して、機能を選択するか、機能メニューのオープンとクローズを行います。

目的	操作
機能を選択する	次の機能ボタンを押します。  リダイヤル  会議  転送  保留 / 復帰  メッセージ  スピーカ  ミュート
メニューやメニュー項目を選択する	 を押します。
リストまたはメニューをスクロールする	 を押します。
メニューの1つ前のレベルに戻る	 を押します。メニューのトップレベルで  を押すと、メニューがクローズします。











回線とコールについて

回線とコールを混同しないように、次の説明を参照してください。

- 回線：Cisco Unified SIP Phone 3911 は単一回線用の電話機です。つまり、他からの呼び出しに使用できる電話番号（または内線番号）が1つだけサポートされています。
- コール：お使いの電話機では、1つの回線で同時の2件のコールがサポートされます。
 - お使いの電話機では、接続コールが2件までサポートされます。アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、2件目のコールは自動的に保留状態になります。この間は、これ以上の発信者にはビジー音が返されます。
 - お使いの電話機では、標準の（アドホック）3者会議が1件サポートされます。

回線およびコールのアイコンについて

電話機には、コールおよび回線の状態（オンフック、保留中、呼出中、接続中など）の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールのステータス	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	番号をダイヤル中です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼出中のコール	回線でコールが呼出中です。
	不在履歴	回線での不在履歴があります。
	発信コール	発信コールが呼び出し中です。
	コールが保留中	コールが保留されています。 コールの保留と復帰、16 ページ を参照してください。
	不在が有効	着信コールは他の電話番号に転送されます。
	会議コール	回線にアクティブな標準の（アドホック）3者会議コールがあります。
	会議コールが保留中	会議コールが保留中です。

機能の Availability について







電話機システムの設定によっては、この電話ガイドに記載されている機能の一部がお使いの電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能の Availability については、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

コール処理

各種の機能を使用して、基本および拡張コール処理タスクを実行できます。機能のオペラビリティは異なる場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法をいくつか紹介します。






目的	操作	参照先または問い合わせ先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げてから、番号をダイヤルします。	電話機の概要、7 ページ
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 か  を押してから、番号をダイヤルします。	電話機の概要、7 ページ
番号をリダイヤルする	 を押します。	-
通話履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none">  を押して、[不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。  を押して、[ディレクトリ] > [不在履歴]、[着信履歴]、または [発信履歴] を選択します。 番号を選択してから、 を押します。 [ダイヤル] を選択します。 	通話履歴の使用法、22 ページ

ヒント

間違ってダイヤルした場合は、 を押して番号を消去します。






コールの発信：追加オプション

コールを発信するための特別な機能とサービスが電話機で使用可能な場合があります。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none"> を押して、[短縮ダイヤル]を選択します。 を押して、[ディレクトリ]>[短縮ダイヤル]の順に選択します。番号を選択してから、[ダイヤル]を選択します。	短縮ダイヤル、19 ページ
通話履歴から電話番号を編集してダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> を押して、[不在履歴][着信履歴]または[発信履歴]を選択します。番号を選択して、 を押します。番号を編集して、 を押します。	





コールへの応答

ハンドセットを取り上げるだけでコールに応答できます。また、電話機で使用可能な他のオプションを使用することもできます。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
スピーカフォンで応答する	 または  を押します。	ハンドセットおよびスピーカフォンの使用方法、20 ページ
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	応答する着信コールを受信したら、  、  、または  を押します。	コールの保留と復帰、16 ページ



コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。ここでは、その操作を詳細に説明します。



目的	操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。
スピーカフォン使用しているときに切断する	 または  を押します。
複数のコールがある場合に 1 つのコールだけを切断する	コールが保留になっている場合、  を押して保留から復帰します。  を押してコールを終了します。

コールの保留と復帰

コールを保留および復帰することができます。アクティブになれるコールは常に1件に限られ、接続されているもう一方のコールは保留状態になります。


目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。2.  を押します。
コールを保留から復帰する	<ol style="list-style-type: none">1. コールが強調表示されていることを確認します。2.  を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 通話画面の [コール保留中] アイコン  は保留中のコールを示しています。
- 保留中のコールについては、[回線] ボタン  が低速で点滅しています。




ミュートの使用

ミュートが有効になっていると、自分にはコールの他の通話者の声が聞こえますが、自分の声は他の通話者には聞こえません。ミュートはハンドセットかスピーカフォンで使用できます。

目的	操作
ミュートをオンやオフに切り替える	 を押します。

着信コールへの切り替え

電話機で接続コールを着信コールに切り替えられます。











目的	操作
接続コールから切り替えて呼出中のコールに应答する	 、  、または  を押します。

コールの表示

電話機の画面には、現在のコールに関する情報が表示されます。2番目のコールが着信すると、電話機の画面には着信番号が表示されます。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。




目的	操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブコールで、 を押します。 2. 転送先の番号を入力します。 3. コール呼び出しが行われたら、 をもう一度押して転送を実行するか、 を押してキャンセルします。 <p> (注) 転送をキャンセルした場合は、 を押してコールを再開します。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する (打診転送)	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブコールで、 を押します。 2. 転送先の番号を入力します。 3. 相手が応答するのを待ちます。 4.  をもう一度押して転送を実行するか、 を押してキャンセルします。 <p> (注) 転送をキャンセルした場合は、 を押してコールを再開します。</p>

ヒント

保留中のコールは転送できません。転送する前に  をもう一度押して、コールの保留を解除してください。

他の電話番号へのすべてのコールの転送

不在転送を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。



目的	操作
回線のコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> を押して、[設定] > [ユーザ設定] の順に選択します。次に [不在] を選択します。コール転送先の番号を入力します。
回線のコール転送をキャンセルする	 を押して、[設定] > [ユーザ設定] > [不在] の順に選択します。
回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	電話機の画面で次を探します。 <ul style="list-style-type: none">コール転送アイコン 。コール転送アイコンの隣のコール転送先番号。

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じて発信用番号や市外局番をダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することはできませんが、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送の状態を変更できます。

会議コールの使用法

Cisco Unified IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 名の通話者を参加させて、標準の (アドホック) 3 者会議コールを作成できます。





目的	操作
参加者を追加して会議を作成する	<ol style="list-style-type: none">接続コールで、 を押します。参加者の電話番号を入力します。コールが接続されるまで待ちます。もう一度  を押して、参加者をコールに追加します。
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
会議への参加を終了する	切断します。

ヒント


- 電話機でアクティブにできる標準（アドホック）3 者会議は、常に 1 件だけです。
- 会議の作成後に会議から抜けると、その会議は終了します。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから切断します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能を使用すると、電話機の画面の項目の選択により、コールを発信できます。

目的	操作
短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none">  を押して、[ディレクトリ] [短縮ダイヤル] の順に選択します。 空白の短縮ダイヤル（「なし」と表示されています）を選択します。 [編集] を選択して、短縮ダイヤル番号を入力します。 その短縮ダイヤルの名前を入力します。
短縮ダイヤルを使用する	<p>電話をかけるには、 を押して、[短縮ダイヤル] を選択します。</p> <p>あるいは、 を押して、[ディレクトリ] > [短縮ダイヤル] の順に選択します。</p>
短縮ダイヤル情報を変更する	<ol style="list-style-type: none">  を押して、[ディレクトリ] [短縮ダイヤル] の順に選択します。 短縮ダイヤルを選択してから、[編集] を選択します。

ヒント




- 番号や名前を間違えて入力した場合は、 を押して番号や文字を消去します。
- 番号や名前を入力している際に、# を押すと、番号から大文字、大文字から小文字、小文字から数字に切り替わります。

共有回線の使用

電話機に他の電話機との共有回線がある場合、着信コールは両方の電話機で呼び出されます。この場合、コールを取った方の電話機にコールがつながります。

ハンドセットおよびスピーカフォンの使用方法

お使いの電話機はハンドセットかスピーカフォンで使用できます。





目的	操作
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを受け台に戻します。
スピーカフォンを使用する	 を押して、スピーカフォン モードのオン / オフを切り替えます。
コール中に(ハンドセットから)スピーカフォンに切り替える	 を押します。
コール中に(スピーカフォンから)ハンドセットに切り替える	ボタンを何も押さずに、ハンドセットを取り上げます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤルトーンが再生されている状態で  上下ボタンを押します。 音量ボタンを押すと、使用中のデバイス(ハンドセットまたはスピーカフォン)の音量が変わります。

電話機の設定の変更方法

設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone をカスタマイズできます。

電話機のカスタマイズ

電話機の呼出音の音量を調整でき、さらに、電話機の画面のコントラストをカスタマイズできます。









目的	操作
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	<p>ハンドセットが受け台にある状態で、 を押します。</p>  <p>設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。</p>
電話機の画面のコントラストを変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="498 850 1275 958">1.  を押して、[設定] > [ユーザ設定] > [コントラスト] の順に選択します。 <li data-bbox="498 963 1275 1089">2.  を押してコントラストを設定します。

通話履歴の使用方法


このセクションでは、通話履歴へのアクセスと使用方法について説明します。

通話履歴の使用方法

電話機には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴が保持されています。





目的	操作
通話履歴にアクセスする	 を押して、[ディレクトリ] を選択します。
通話履歴を表示する	 を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] の順に選択します。
通話履歴からコールを削除する	<ol style="list-style-type: none"> を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] の順に選択します。コールのレコードを選択してから、[削除] を選択します。
通話履歴からダイヤルする（別のコールに接続されていないとき）	<ol style="list-style-type: none"> を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] の順に選択します。通話履歴からコールレコードを選択し、 を押して、[ダイヤル] を選択します。
通話履歴から電話番号を編集してダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] の順に選択します。履歴にあるコールレコードを選択して、 を押します。番号を編集して、[ダイヤル] を選択します。
通話履歴からダイヤルする（別のコールに接続されているとき）	<ol style="list-style-type: none"> を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] の順に選択します。履歴にあるコールのレコードを選択します。[ダイヤル] を選択します。もう一方のコールは保留状態になります。

ボイスメッセージへのアクセス

ボイスメッセージにアクセスするには、 を押します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイスメッセージサービスは、会社によって決定されま
す。詳細については、ボイスメッセージサービスに付属のマニュアルを参照してください。


目的	操作
ボイスメッセージサービスの個人設定を行う	 を押して、音声の指示に従います。
新しいボイスメッセージの着信を確認する	次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 電話機の画面の上側にあるメッセージ受信インジケータの赤い点灯。 [メッセージ] ボタン () の緑の点灯。 電話機の画面上のメッセージ受信アイコン  の点滅。 コールを発信したときにハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから聞こえるスタッター音。
ボイスメッセージを聞く、またはボイスメッセージメニューにアクセスする	 を押して、音声の指示に従います。

電話機のトラブルシューティング

このセクションでは、Cisco Unified IP Phone のトラブルシューティング情報を提供します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



症状	説明
短縮ダイヤルが機能しない	次の番号が設定されていない可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">• 外線発信用番号• 市外局番• 国番号
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを実行できない	電話機に時間帯制限が設定されているために、特定の時間帯に一部の機能を使用できないのかどうかを確認してください。

ヒント

お使いの電話機で有効になっている機能を確認するには、 を押して、[設定] > [ユーザ設定] の順に選択します。機能を選択して、有効(Yes)になっているか、無効(No)になっているかを調べます。

電話機の管理データの表示

トラブルシューティングの一環として、電話機の管理データにアクセスするようにシステム管理者から求められる場合があります。

目的	操作
ネットワーク設定データにアクセスする	 を押して、[設定]>[ネットワーク設定]の順に選択します。 表示対象のネットワーク設定項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 を押して、[ステータス] を選択します。 表示対象のステータス項目を選択します。

Cisco 製品（ハードウェア）に関する 90 日間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。Cisco のソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com で入手できます。次の手順を実行して、Cisco.com から *Cisco Information Packet* と保証およびライセンス契約書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpk/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03D0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。
- d. Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。
- e. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。
 - a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。
 - b. 78-5236-01C0
 - c. 文書を表示する言語を選択します。
 - d. **Go** をクリックします。
 - e. Cisco warranty ページが表示されます。
 - f. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

90 日間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

Cisco またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

Cisco は購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入された Cisco の代理店にお問い合わせください。製品を直接 Cisco から購入された場合は、Cisco の営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	

Index

C

Cisco Unified IP Phone

- 図 7
- 接続 4
- 登録 5
- トラブルシューティング 24
 - ~の機能設定 12
 - ~のマニュアル 2
- ハンドセット受け台の固定 5

T

- TAPS 5
- Tool for Auto-Registered Phones Support 5

あ

- アイコン、コール状態の 11
- 安全上の警告 2

お

- 音声、~の品質 6
- 音量
 - 電話機の呼出音の 21
 - ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカ
の 20

- 音量ボタンの図 8

か

- 回線
 - コールとの比較 11
 - 説明 11
 - ~でサポートされている会議コールの数 11
 - ~でサポートされているコールの数 11
 - ~の説明 11
- 回線ボタンの図 8

き

- 機能、~のアベイラビリティ 12
- 機能ボタン
 - ~の表示 10
- 機能メニュー 10
- 共有回線、~の説明 19

け

- 警告、安全上の 2

こ

- コール
 - 応答 15

回線ごとの会議コール	11
回線ごとの最大数	11
回線との比較	11
終了	15
転送	17, 18
~のアイコン	11
~の会議機能	18
~の複数の参加者	18
発信	13, 14
表示	8, 17
複数、~の切り替え	16
複数の処理	15, 16
保留と復帰	16
コール処理	13
コール転送	18
電話機での設定	18
コールの切り替え	16
コールの終了、オプション	15
コールの転送、~のオプション	18
コールの発信、~のオプション	13, 14
コールへの応答	15
コールを発信する	
スピーカフォンを使用して	13
ハンドセットを使用して	13

さ

サウンド	
音声を参照、~の品質	6

す

スピーカ	
使用	15

スピーカ、使用方法	20
-----------	----

せ

切断、~のオプション	15
設置、Cisco Unified IP Phone	4
設定、カスタマイズ	21

た

ダイヤル、~のオプション	13, 14
ダイヤルオプション	
基本的な	13
追加の	14
短縮ダイヤル	
使用	14
設定	19
~の説明	19

ち

着信履歴、~のレコード	22
-------------	----

つ

通話履歴

~からのダイヤル	13
~からの表示およびダイヤル	22
削除	22

て

ディレクトリ	
電話機での使用	22

- 転送、～のオプション 17
- 電話回線、～の説明 11

- と

- トラブルシューティング
 - 一般的な 24

- は

- 発信者 ID 8
- 発信履歴、～のレコード 22
- ハンズフリーで音声を聞く 20
- ハンドセット
 - 受け台に固定 5
 - 使用方法 20

- ふ

- 複数のコール、処理 15, 16
- 不在履歴、～のレコード 22
- フットスタンド 4

- へ

- ヘッドセット
 - 音声品質 6

- ほ

- ボイス メッセージ、アクセス 23
- ボイス メッセージ インジケータ
 - ～の説明 23
- ボタン、識別 7

- 保留
 - およびコールの切り替え 16
 - および転送 17
 - 使用 16
 - 保留状態のコールの復帰 16

- ま

- マニュアル、アクセス 2

- み

- ミュート、使用方法 16

- め

- メッセージ
 - 聞く 23
- メッセージ待機中インジケータ 8
- メニュー、使用方法 10

- よ

- 呼出音
 - カスタマイズ 21
 - ～の音量 21

- り

- リダイヤル 13

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices.

CCVP, the Cisco logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0708R)

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先（シスココンタクトセンター）

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122（通話料無料）、03-6670-2992（携帯電話、PHS）

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00